

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	千葉剛成
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3622
事務事業名	6080 市誌編さん事業						
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課						
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	100601 教育費・社会教育費・社会教育総務費					
	事業	030000 市誌編さん事業					
事業目的				事業概要・効果			
<p>市誌編さん事業は、市民が須坂市の豊かさや太古から現代までの先人の営みを学ぶことで、共感し、自ら発送し活動するための「ひとづくり」や「まちづくり」に寄与することを目的とする。</p>				<p>市誌編さんにあたり、歴史編の資料調査、地誌・民俗編の現地・文献調査を行い、収集した資料の活用と保存を図る。また、収集した資料の紹介や中間報告を兼ねた「文化・歴史講座」を開催し、市民へ生涯学習機会の提供や市誌編さん事業への理解を深める。</p> <p>H23：自然編、H25地誌・民俗編、H26～28：歴史編Ⅰ～Ⅲを刊行し、平成29年度までに年表を発刊し事業終了とする予定。</p>			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
<p>第5巻「歴史編Ⅲ（近現代）」調査・執筆、発刊及び歴史編Ⅰの編纂に係る調査 個人などが所蔵する古文書等の情報収集及び整理・目録化による史料散逸防止</p>	<p>第3巻「歴史編Ⅰ（原始～古代）」調査・執筆、発刊及び別巻「年表編」の編纂に係る調査 個人などが所蔵する古文書等の情報収集及び整理・目録化による史料散逸防止</p>
平成29年度 予定	平成30年度 予定
<p>別巻「年表・補遺編」調査・執筆、発刊 個人などが所蔵する古文書等の情報収集及び整理・目録化による史料散逸防止</p>	(事業終了)
平成31年度 予定	平成32年度 予定
(事業終了)	(事業終了)

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		16,129	17,148
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,791	7,093
一般財源		14,338	10,055
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.4	0.4
	臨時職員	9.0	8.0
人員コスト	正規職員	1,441.6	1,441.6
	嘱託職員	1,082.0	1,082.0
	臨時職員	9,270.0	8,240.0
	計	11,793.6	10,763.6
市民一人当たりの経費		0.5	0.5
総額		27,922.6	27,911.6

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	4,890	市誌執筆謝礼、調査謝礼、歴史文化講座講師謝礼
11節 需用費	5,478	市誌「歴史編Ⅲ」・資料目録の印刷、消耗品他
13節 委託費	163	コピー機点検委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,598	郵便料・電話料、機器賃借料、備品購入費外

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	4,600	市誌執筆謝礼、調査謝礼、歴史文化講座講師謝礼
11節 需用費	5,486	市誌「歴史編Ⅰ」・資料目録の印刷、消耗品他
13節 委託費	243	コピー機点検委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,819	郵便料・電話料、機器賃借料、備品購入費外

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市誌の刊行等により市民共有の文化的遺産を次代に継承する	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	市誌が市民に広く頒布されている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	市誌の印刷製本の発注にあたり、指名競争入札しているが、低価格で落札しており印刷製本費の縮減が図れた	

振り返り（決算年度の取組み課題）
計画どおり、市誌第5巻「歴史編Ⅲ」を発刊した

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>市誌発刊終了後、市誌編さんのために収集した資料などを市民が活用できるようにすると共に、引き続き歴史資料の収集・整理を行うよう検討する必要がある。</p>		<p>予定通りに事業執行ができた。市史編さん事業終了後の現編さん室の後利用について検討が必要。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	